

2019 年全国家計構造調査

家計収支に関する結果

令和3年3月

宮城県震災復興・企画部統計課

家計収支に関する結果

1 総世帯

(1) 総世帯の支出

宮城県の1世帯当たりの消費支出は243,617円で、前回(※)と比べ、4.1%の減少

※前回とは「平成26年(2014年) 全国消費実態調査」を指します(以下同様)。

- ・総世帯の1世帯当たり2019年10・11月の1か月平均(以下「消費支出」という。)は、243,617円で、前回の254,112円と比べると、4.1%減少した。
- ・消費支出は全国を上回っている。
- ・消費支出に占める費目割合をみると、「食料(外食を除く)」(22.7%)、「交通・通信」(15.3%)、「その他の消費支出(交際費を除く)」(12.3%)が高くなっている。
- ・費目別割合を前回と比べると、「食料(外食を除く)」,「住居」等が上昇しており、一方で「被服及び履物」,「交通・通信」,「その他の消費支出(交際費を除く)」などが低下している。

図1-1 費目別消費支出の割合(総世帯)

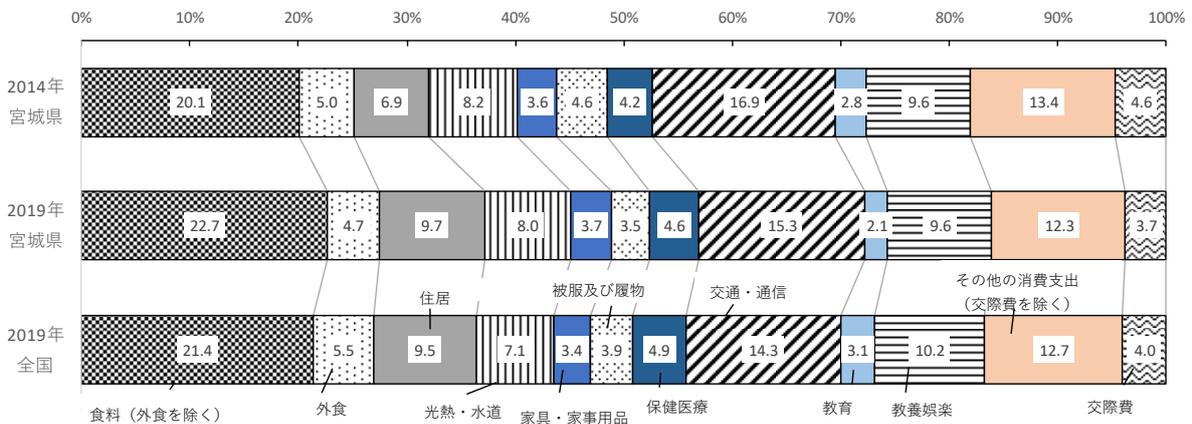


表1 費目別消費支出(総世帯)

項目	宮城県						全国	
	2014年		2019年		増減率 上昇・低下幅		2019年	
	実数	構成比(%)	実数	構成比(%)	実数(%)	構成比(ポイント)	実数	構成比(%)
世帯主の平均年齢(歳)	55.6	-	56.9	-	(1.3)	-	56.6	-
平均世帯人員(人)	2.57	-	2.47	-	(-0.10)	-	2.28	-
消費支出(円)	254,112	100.0	243,617	100.0	-4.1	-	237,091	100.0
食料(外食を除く)	51,117	20.1	55,397	22.7	8.4	2.6	50,763	21.4
外食	12,817	5.0	11,364	4.7	-11.3	-0.3	12,993	5.5
住居	17,644	6.9	23,586	9.7	33.7	2.8	22,523	9.5
光熱・水道	20,830	8.2	19,605	8.0	-5.9	-0.2	16,837	7.1
家具・家事用品	9,094	3.6	8,901	3.7	-2.1	0.1	8,073	3.4
被服及び履物	11,582	4.6	8,501	3.5	-26.6	-1.1	9,279	3.9
保健医療	10,729	4.2	11,320	4.6	5.5	0.4	11,648	4.9
交通・通信	43,067	16.9	37,338	15.3	-13.3	-1.6	33,954	14.3
教育	7,135	2.8	5,148	2.1	-27.8	-0.7	7,279	3.1
教養娯楽	24,403	9.6	23,485	9.6	-3.8	0.0	24,282	10.2
その他の消費支出(交際費を除く)	34,057	13.4	29,925	12.3	-12.1	-1.1	30,045	12.7
交際費	11,638	4.6	9,049	3.7	-22.2	-0.9	9,415	4.0

注 世帯主の平均年齢及び平均世帯人員の増減率に記載の()内は、前回との差

(2) 勤労者世帯及び無職世帯の収入と支出

- ・総世帯のうち勤労者世帯の1世帯当たり1か月平均実収入は435,875円、可処分所得は364,428円、消費支出は250,386円となっており、可処分所得に占める消費支出の割合は、68.7%となっている。
- ・総世帯のうち無職世帯の1世帯当たり1か月平均実収入は270,404円、可処分所得は238,623円、消費支出は215,416円となっており、可処分所得に占める消費支出の割合は、90.3%となっている。
- ・勤労者と無職世帯の実収入を比べると、無職世帯の実収入(270,404円)は勤労者世帯の実収入(435,875円)の約6割、無職世帯の消費支出(215,416円)は、勤労者世帯の消費支出(250,386円)の約8割5分となっている。

図1-2 勤労者世帯の実収入及び消費支出(総世帯)

(世帯主の平均年齢: 46.9歳, 平均世帯人員: 2.47人)

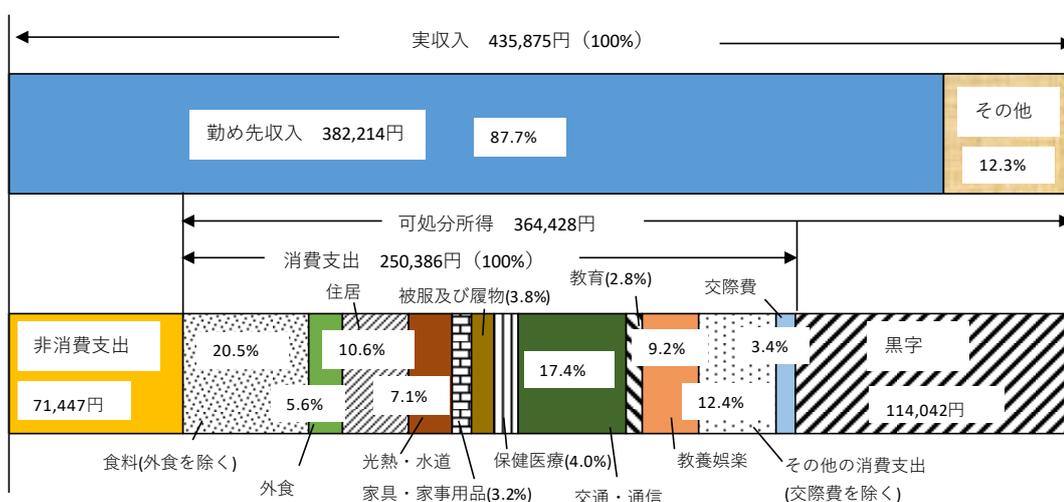
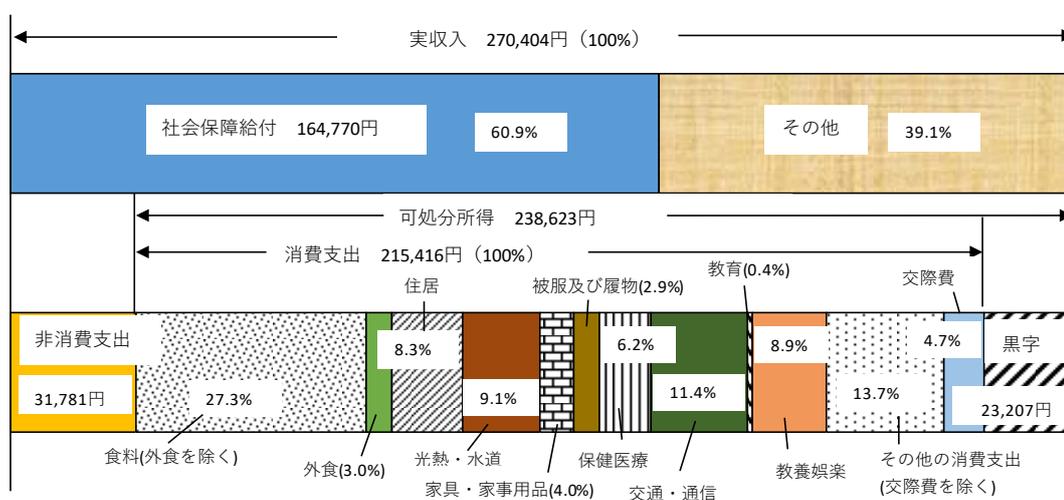


図1-3 無職世帯の実収入及び消費支出(総世帯)

(世帯主の平均年齢: 73.3歳, 平均世帯人員: 2.17人)



2 二人以上の世帯

(1) 二人以上の世帯の支出

宮城県 の 1 世帯 当 た り の 消 費 支 出 は 279,345 円 で、 前 回 と 比 べ、 4.5% の 減 少

- ・二人以上の世帯の消費支出は1世帯当たり279,345円で、前回の292,407円と比べると、4.5%減少した。
- ・消費支出は全国を上回っている。
- ・消費支出に占める費目割合をみると、総世帯と同様、「食料（外食を除く）」（24.0%）、「交通・通信」（15.7%）、「その他の消費支出（交際費を除く）」（12.1%）が高くなっている。
- ・費目別割合を前回と比べると、「食料（外食を除く）」、「住居」等が上昇しており、一方で「交通・通信」、「その他の消費支出（交際費を除く）」などが低下している。

図2-1 費目別消費支出の割合（二人以上の世帯）

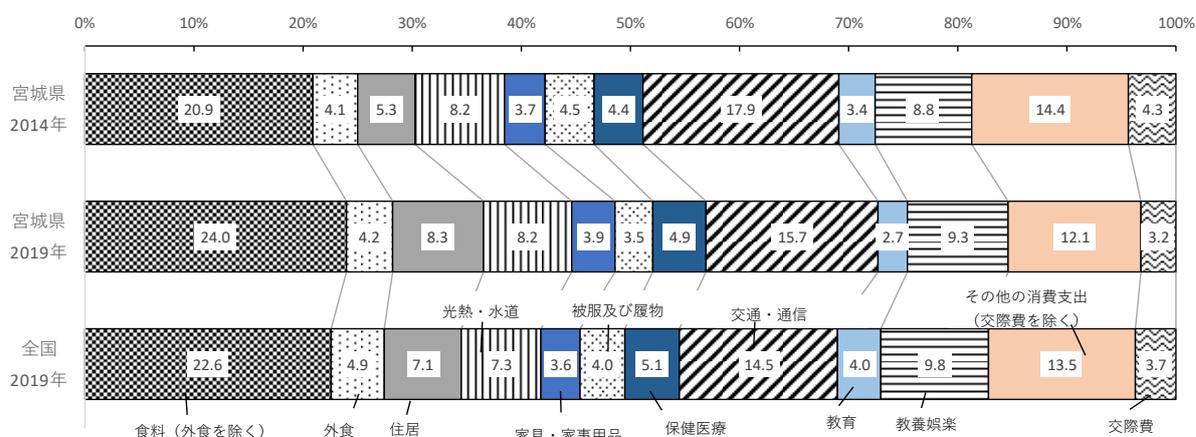


表2 費目別消費支出（二人以上の世帯）

項目	宮城県						全国	
	2014年		2019年		増減率 上昇・低下幅		2019年	
	実数	構成比(%)	実数	構成比(%)	実数(%)	構成比(ポイント)	実数	構成比(%)
世帯主の平均年齢(歳)	56.8	-	58.2	-	(1.4)	-	58.1	-
平均世帯人員(人)	3.19	-	3.12	-	(-0.07)	-	2.98	-
消費支出(円)	292,407	100.0	279,345	100.0	-4.5	-	279,066	100.0
食料（外食を除く）	61,167	20.9	66,974	24.0	9.5	3.1	62,932	22.6
外食	12,086	4.1	11,834	4.2	-2.1	0.1	13,714	4.9
住居	15,592	5.3	23,156	8.3	48.5	3.0	19,702	7.1
光熱・水道	23,982	8.2	23,038	8.2	-3.9	0.0	20,378	7.3
家具・家事用品	10,890	3.7	10,855	3.9	-0.3	0.2	9,915	3.6
被服及び履物	13,245	4.5	9,828	3.5	-25.8	-1.0	11,119	4.0
保健医療	12,899	4.4	13,709	4.9	6.3	0.5	14,188	5.1
交通・通信	52,360	17.9	43,759	15.7	-16.4	-2.2	40,558	14.5
教育	9,908	3.4	7,424	2.7	-25.1	-0.7	11,232	4.0
教養娯楽	25,716	8.8	25,936	9.3	0.9	0.5	27,284	9.8
その他の消費支出（交際費を除く）	42,032	14.4	33,815	12.1	-19.5	-2.3	37,806	13.5
交際費	12,532	4.3	9,017	3.2	-28	-1.1	10,239	3.7

注 世帯主の平均年齢及び平均世帯人員の増減率に記載の()内は、前回との差

(2) 勤労者世帯及び無職世帯の収入と支出

- ・二人以上の世帯のうち勤労者世帯の1世帯当たり1か月平均実収入は493,858円、可処分所得は412,822円、消費支出は284,415円となっており、可処分所得に占める消費支出の割合は、68.9%となっている。
- ・二人以上の世帯のうち、無職世帯の1世帯当たり1か月平均実収入は323,473円、可処分所得は282,088円、消費支出は259,639円となっており、可処分所得に占める消費支出の割合は、92.0%となっている。
- ・勤労者と無職世帯の実収入を比べると、無職世帯の実収入(323,473円)は勤労者世帯の実収入(493,858円)の約6割5分、無職世帯の消費支出(259,639円)は、勤労者世帯の消費支出(284,415円)の約9割で、総世帯と同様の傾向となっている。

図2-2 勤労者世帯の実収入及び消費支出（二人以上の世帯）

(世帯主の平均年齢：49.3歳，平均世帯人員：3.16人)

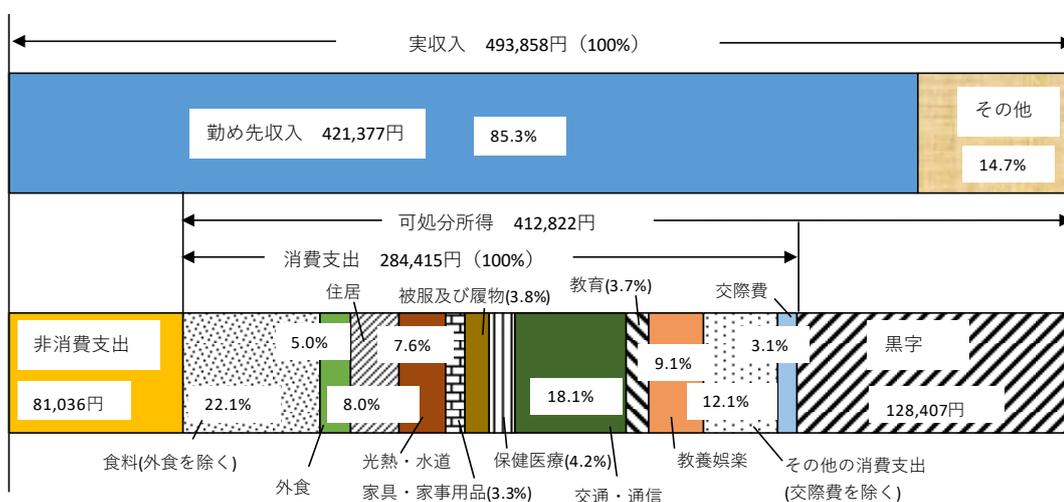


図2-3 無職世帯の実収入及び消費支出（二人以上の世帯）

(世帯主の平均年齢：73.8歳，平均世帯人員：2.83人)

